

日曜日の朝は預言アップデートの前に、書から書へ、章から章へ、節から節へ、聖書の学びをしています。先週、ピリピ人への手紙を学び終わりました。

今日から、素晴らしいコロサイ人への手紙の学びを始めます。

私が全ての書簡についてそう言うのは分かっていますが、特に今日、私たちは滅多にない祝福に与りますよ。

### コロサイ 1:1-6

- 1 神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロと、兄弟テモテから、
- 2 コロサイにいる聖徒たち、キリストにある忠実な兄弟たちへ。  
私たちの父なる神から、恵みと平安があなたがたにありますように。
- 3 私たちは、あなたがたのことを祈るときにいつも、私たちの主イエス・キリストの父なる神に感謝しています。
- 4 キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対してあなたがたが抱いている愛について聞いたからです。
- 5 それらは、あなたがたのために天に蓄えられている望みに基づくもので、あなたがたはこの望みのことを、あなたがたに届いた福音の真理のことばによって聞きました。
- 6 この福音は、あなたがたが神の恵みを聞いて本当に理解したとき以来、世界中で起こっているように、あなたがたの間でも実を結び成長しています。

一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様、あなたが今日用意して下さった御言葉を心から感謝します。

主よ、魂の敵が可能な限りあらゆることをして、私たちの思考を混乱させよう、気を散らせようとし、特に今日、あなたが用意して下さったことのゆえに、私たちが見逃すよう、聞かないようにさせます。

ですから主よ、どうかお願いします。

集中して、しっかり取り組むことができるように、思考が静まり、心が整うように、聖霊によって助けて下さい。

御言葉を通して、あなたが私たちのいのちに語りかけて下さい。主よ、どうかお願いします。

イエスの御名によって。アーメン。

今日お話ししたいのは、信仰についてです。

信仰とは明らかに、大いなることにおいて神を信じるということ。

私は、クリスチャン人生で最も誤解される真理の1つが信仰だと考えています。

誤解されると言ったわけは、「The Word of Faith」(信仰のことば/繁栄の神学)の教えが、多くのクリスチャンを奪って行ったからです。

それに伴って、教会から神の御言葉の極めて重要な真理を奪いました。

悲しいことに、「名指しで宣言しろ!」というこの教えが、力強い聖書真理を非聖書的な極論にしてみました。

それによって、神の民である私たちに与えられている最大の約束の1つが損なわれたのです。

すなわち「信仰によって、ただ神を信じる」という約束です。

進める前に、主が私の人生に働きかけておられる事を告白しなければなりません。

今日皆さんの前に立って、「私は偉大な信仰の男である」と言えたらどんなに良いかと思えます。

そうであつたら良かったのに。

コロサイ書の最初の6つの節で私が特に注目したのは、パウロが、コロサイ教会が知られている点を指摘していることです。

彼らは、その信仰のゆえに知られていました。

イエス・キリストへの彼ら自身の信仰のゆえに、そして神の民への愛のゆえにです。

**ヨハネ 13:35**

**互いの中に愛があるなら（それが、あなた方が知られることなら）、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。（皆が知るようになる。）**

あなた方の愛によって。

コロサイ教会は彼らの信仰で、つまり、まず第1にイエス・キリストへの信仰、そして神の民への愛で知られていて、それは彼らの望みに相対していました。

天に蓄えられているという望み。

分かりますか。

**I コリント 13:13 信仰と希望と愛。その中で一番すぐれているのは愛です。**

別の言い方で、こう考えてみて下さい。

コロサイ教会は、教会堂の事で有名だったのではありません。

出席信者の数でもなく、人数全てを収容するための礼拝の数でもない。

恐らく私は自分自身に対して、自分のために話しているのですが、彼らの牧師の事で有名だったのではなく、教会のオンラインの視聴者数や、ソーシャルメディアに残る記録でもない。

そんな事で有名だったのではありません。

彼らは何で知られていたのでしょうか。

彼らの信仰です。

興味深いのは、コロサイ教会は非常に小さくて、取るに足りない教会だったということです。

なので『使徒の働き』には、この教会の記述がないのです。

さらには、使徒パウロがこの教会を訪れた記録がありません。

彼がその他の全教会に行った記録はあるのに。

だけど、この教会が小さく、あまり重要でなく、取るに足りないように見えるにもかかわらず、「福音が彼らの間で実を結び、世界中で広がった」と言われているのです。

「どういうことなんだ？ これは小さな教会じゃないか。」

それは彼らの信仰のゆえです。

ここで質問です。

なぜコロサイ教会は、パウロが聖霊からこの書簡を送るように示唆されるまでのレベルに上がったのか。

アンティオキア教会宛ての手紙はありません。

しかし聖書には、この無名で取るに足りないコロサイ教会への書簡が含まれているのです。

私はこの手紙が書かれた理由は2つあると思います。

1) コロサイに広がっていたグノーシス主義という偽教義のため

今日は聖霊の導きを感じないので、これについては話しません。

2) コロサイ教会の、注目すべき驚くほどの信仰のため

これが、今日聖霊が目向けさせようとしている内容です。

最初に祈った通り、ここは御言葉の中でも、敵が何としてでも聞かせたくない、また理解させたくない箇所の1つだと私は信じています。

なぜかという、敵はクリスチャン人生において、信仰がいかに力強いことであるかを知っていて、それを恐れているからです。

そんな風に考えたことがありますか。こう思って下さい。

### ヨハネ 10:10

**盗人（敵）が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。**

**わたしが来たのは、羊たちがいのちを得るため、それも豊かに得るためです。**

再度これを繰り返すことを許してほしいのですが、繁栄の神学は偽福音です。

「名指しで宣言しろ！」「握って掴み取れ！」

「ただ信じなさい。信仰を持ちなさい。何でも欲しいものを手にするんだ！」

いいえ、違います。

再度これを言ったのは、大事なものと不要なものとをそのまま一緒に捨ててしまうと、私たちも有罪になるから。

正反対の極論に行ってしまったので、この偽教義から権利を剥奪したいのは当然でしょう。

でもまた別の極論へ行ってしまうと、可能な限りのあらゆることを行う敵の手中にハマっています。

敵は信仰によって、私たちのものであるはずの力から信者を引き離したいのです。

福音書を読んだ時に全く驚いたことの1つが、イエスがある人たちの信仰に驚嘆し、気に留められたこと。人々の信仰の欠如に対してさえも。

イエスが故郷のナザレに行った時、その人たちの信仰の欠如のために、故郷では多くの奇跡をされなかったと伝えられています。

言い換えると、私たちは自分の不信仰のロープを使って、神の祝福と奇跡の御手を実際に縛ってしまう事が起こり得るということ。

神が望んでおられないのではなく、神にはできないのです。

なぜなら、私たちが信じないから。

それに対して、反対側には信仰のある人がいて、ただ信じて、力ある奇跡を受け取るのです。

奇跡について話す時、何だか不快になりますよね。

今までに、神の御手の奇跡を受け取ったことがありますか。

敢えて言うなら、私が部屋中を回って、そしてあなたにマイクを渡し、あなたにされた神の奇跡を話してもらうなら、今日ここで全員が啓発されるでしょう。

### マタイ 8:5-13

百人隊長（Centurion）が紹介されています。

百人隊長とは、指揮下に100人の部下を持っている、百人隊（Century）の長。

Century（世紀）は100年ですね。

**5 イエスがカペナウムに入られると、一人の百人隊長がみもとに来て懇願し、**

ここに権力を持った男がいて、イエスに頼み、懇願しています。

彼は「主よ」と、イエスを主と呼んでいる。いい始まりです。

**6 「主よ、私のしもべが中風のために家で寝込んでいます。ひどく苦しんでいます」と言った。**

**7 イエスは彼に「行って彼を治そう」と言われた。**

この百人隊長が言っていることを聞いて下さい。

**8a しかし、百人隊長は答えた。「主よ、あなた様を私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。」**

彼は百人隊長です。ユダヤ人ではなく、異邦人のローマ人ですよ。

その彼がイエスに言うのです。

**8b 「ただ、おことばを下さい。そうすれば私のしもべは癒されます。」**

皆さんが心の目でイエスをどのように想像しているか分かりませんし、特別な母の日を台無しにするつも

りはありませんが、イエスは全ての肖像画に描かれているような容姿ではありませんでした。

すみません。ただ言ってみただけです。

イエスがどんな人だったか、どんな容姿で、どういう風に話したのか、皆さんが想像していることは分かりません。

でも、救世主が呆気にとられるのが想像できますか。

「先生、イエスは神が人となっているのです。全てをご存知ですよ。」

もちろんイエスは不意を打たれたり、ビックリしたりしません。

ただこの記述を読んだ時、まるでイエスが本当に感動したように思えました。

イエスがこれを聞いた時、「彼は驚いた」と書いてあります。

イエスはビックリして、自分につき従っている多くの群衆に言いました。

間違いなくそこには群衆がいて、百人隊長と救世主の間で交わされた会話を聞いていたでしょう。

### マタイ 8:10-13

10 イエスはこれを聞いて驚き、ついて来た人たちに言われた。

「まことに、あなたがたに言います。

わたしはイスラエルのうちのだれにも、これほどの信仰を見たことがありません。」

その他の事もかなりはっきり付け加えて言っていますが、その後、百人隊長の方を向いて、

13a 「行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」

これには両方の意味があります。

「あなたの信じたとおりになるように。」「本当ですか！」

「あなたの信じたとおりになるように。」「えっ…、私は信じていなかった…」

イエスがある男性に「信じますか」と聞いた時、その人は、

マルコ 9:24 「信じます。不信仰な私をお助けください。」(私は信じたい)

あなたが信じることに比例して、あなたの信仰によって、それがなされるのです。

それから非常に細かく、具体的に書かれています。

13b すると、ちょうどそのとき、そのしもべは癒された。

結論は、「そのしもべは、まさにその時に癒された。それは百人隊長が信じたから。」

そうなんです！

皆さんに再び質問です。私自身にも。ご理解下さい。

あなたは信じていますか。

「先生、私を侮辱するのですか。」

いいえ、どなたも侮辱するつもりはありません。

そうではなく、真摯に、正直に、謙虚にお聞きします。信じていますか。

神はどんなこともお出来になると、あなたは信じていますか。

マタイ 8:13a 「あなたの信じたとおりになるように。」

### マタイ 9:27-29

27 イエスがそこから進んで行くと、目の見えない二人の人が、「ダビデの子よ、私たちをあわれんでください」と叫びながらついて来た。

28 イエスが家に入られると、その人たちがみもとに来た。

そしてイエスがこの質問をされます。

28 「わたしにそれができると信じるのか」

私は今日ここにいる一人ひとりが、これを問われていると思います。

「わたしが、あなたの放蕩息子や放蕩娘を家に戻すと信じていますか。

わたしにはそれができると信じていますか。」

「わたしは、あなたの体の癒しをもたらすと信じていますか。

わたしにはそれができると信じていますか。」

「わたしは、あなたの必要の全てを提供すると信じていますか。

わたしにはそれができると信じていますか。」

「主には、難しいことなど何もないと信じていますか。それを信じますか。」

イエスの質問に対する2人の答えは二言です。

**マタイ 9:28-29**

**28** 彼らは「はい、主よ」と言った。「完了！」

**29** そこでイエスは彼らの目にさわって（イエスの言葉を、よくよく注意して聞いて下さい）、

「あなたがたの信仰のとおりになれ」と言われた。

もう1度結論づけます。

彼らは生まれながらの盲人かもしれませんが、それは書かれていないし、分からない。

事実、それは問題ではありません。

私たちに分かることは彼らが盲人であったこと、それが全てです。

- ・ 彼らはイエスの所へ行き、お願いした。
- ・ イエスが「わたしがあなた方を癒せると信じるか。見えるようにできると信じるか。」と聞いた。
- ・ 彼らは「はい、主よ」と応えた。
- ・ 「あなたがたの信仰のとおりになれ」
- ・ そして彼らは癒された。

思うに、もし彼らが「はい」と応答していなかったら、何が起こっていたでしょうか。

癒されたでしょうか。

確実に推測できるのは、彼らは、そもそもイエスに懇願しなかったということ。

それ自体が信仰の行いだから。

よって、癒されることはなかったでしょう。

**ヤコブ 4:2b** 自分ものにならないのは、あなたがたが求めないからです。

あなたに必要なもの、イエスに求めて来なかったものとは何ですか。

もしかすると、あなたが持っていないのは、1度も求めていないからではないですか。

ストレート過ぎたでしょうか。

**ルカ 8:49a** イエスがまだ話しておられるとき、会堂司（ヤイロ）の家から人が来て言った。

「お嬢さんは亡くなりました。」

娘は死んだ。

ここから分かることは、イエスが教えていた時、ヤイロは会堂にいたようで、娘が（恐らく）重病であることを、もうイエスに話していた。

なぜなら、このメッセージが書いてあるから。

**ルカ 8:49b** 「もう先生を煩わすことはありません。」

イエスは、その人がヤイロに話すのを耳にしました。

ヤイロは自分の娘が死んだという報告を受けただけで、何も言っていません。

イエスはこの話を耳にして、ヤイロに言われます。聞いて下さい。

**ルカ 8:50-55**



50 「恐れなくて、ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われます。」

「恐れなくて、ただ信じなさい。」

そうしてイエスは家に着いて、

54 イエスは少女の手を取って叫ばれた。「子よ、起きなさい。」

55 すると少女の霊が戻って、少女はただちに起き上がった。

ただ信じる。

「神は何でもお出来になることをただ信じる。」「主にとって難しいことは何もない。」

コロサイのクリスチャンたちは、この信仰を持っていたのです。

このような信仰が欲しいですか。

私も含め、自分自身に尋ねる必要があります。

「奇跡が起こる」とただ神を信じる、その信仰が欲しいですか。

最初の反応は当然のことながら、「モチロンですよ。」

こんな風に言ってもいいですか。

『口先で言うだけでなく、信仰で証明しなさい。』 Put Your Faith Where Your Mouth Is.

「先生、今日は厳しいですね。」

分かっています。なぜかという、私がこれを主から指摘されたから。

『信仰』のメッセージを準備した週がどんなだったかさえ言えないくらいです。

理解して欲しいのは、私は講壇に立って神の御言葉を教える前に、「信じた通りになる」を自分の心と生き方に、しっかり根付かせなければならないという事です。

主は心と生き方を、くまなく調べられます。

信仰に関しては、人生の現実と向き合わなければならないのです。

私がただ信じてさえいれば神がして下さったであろうことが、どれほどあったでしょうか。

残りの時間を使って3つのことを見て、3つの質問に答えます。

質問① 本当のところ信仰とは何か

質問② どうすれば、その信仰を持つことができるか

質問③ ただ信じる時、なぜ神はその信仰に報いて下さるのか

—これはある意味、もっと重要だと思いますが。

質問① 信仰とは何か(What)

**ヘブル 11:1 信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。**

これは強い言葉で、恐らく、法医学的証拠と言えるでしょう。

法医学的証拠とは、まだ目に見えないけど、信仰が「証拠がある」と告げるのです。

私には見えない、神がまだなされていない、しかし私は信じる。

「それは盲目的信仰と呼ばれるものですよ。」

いいえ違います。

それは知的信仰だとお伝えします。

神が与える英知に基づいた知的な信仰。

それが私たちにあり、そして、その証拠があるのです。

ある人が数えたのですが、福音書の中でイエスが行った奇跡は、記録されているもので24回。

もっと多くの奇跡があったと言われていて、イエスがなさった全てのみわざを書くには、多過ぎて入り切らなかったでしょう。(ヨハネ 21:25)

私がそれを指摘する理由は、24回の奇跡の内7回は代理の祈りだったから。

つまり、癒された人には信仰がなく、他の誰かに信仰があって、神はそれを称賛されたのです。

あの4人の男たち、彼らはこの友達を本当に愛していたはずですよ。こういう友達を持つべきですよ。彼らは何をしましたか。

友達の体が不随で、恐らくもう死にかけており、それで寝床に乗せてイエスの所に運びました。

友をイエスの元へ連れて行けば、イエスが癒して下さると信じていたから。

しかし問題があって、イエスがいた家にはあまりにも多くの人が集まり、中に入ることもできません。

そこで何をしたかというと、

**マルコ 2:4-5**

**4 彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかったので、イエスがおられるあたりの屋根をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている寝床をつり降ろした。**

イエスの前に連れて行くために。

**5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。**

中風の人には信仰を持っていたのでしょうか。いいえ。

イエスは中風の人ではなく、友達の信仰に目を留め、まさに彼らの信仰をご覧になったのです。

そして、この人を癒されました。

皆さん、今日ここにいる一人ひとりが、そういう励ましと希望を持つべきです。

特に、主から遠ざかっている息子や娘に。

私はよく、こんな風に考えます。

「放浪息子やわがまま娘は、祈る親には勝てない。信仰を持って祈り、ただ神を信じる親には勝てない。」

私が話しているのは、昔の聖者物語にある通りの、このような信仰です。

「我々の収穫物が枯れかかっているので、緊急に祈りの集会を開いて、雨乞いをしなければならぬ。」

それで、彼女は祈りの集会を開いて雨乞いをしますが、その時彼女は傘を持って行って開きました。

これが信仰ですよ。

「主よ、ありがとうございます！ 私はあなたがして下さると分かっています。」

「あなたの御心に沿った祈りは聞かれるとあなたは言われました。これは、あなたの御心にかなっていませんか。」

—「もちろんだよ！」

「主よ、ありがとうございます。本当に感謝します。主よ、雨をありがとうございます。傘の準備もできています。」

ただ雨を待つだけ。

ここでまた、私の個人的な証しを許して下さい。

神が私の人生に、深い形で働きかけて下さっているのです。

神はこのように祈ることを教えておられます。

「分かりました！ 主よ、いいですよ。そうしましょう。待ち切れません。」

「あなたがそれをして下さると分かっています。私の傘が見えますか。さあ、雨よ来い！ 雨よ降れ！」

質問② どうすれば、その信仰を持つことができるか (How)

**ローマ 10:17**

ですから、信仰は聞くことから始まります。

聞くことは、キリストについてのことばを通して実現するのです。

サタンはクリスチャンを、神の御言葉と祈りから遠ざけようとあらゆることをします。

御言葉と祈りが決め手であることを知っているから。  
神の御言葉が、いかに私たちの信仰燃料タンクを満たすかを知っているから。  
敵は私たちに空っぽでいさせたい。無力のままにし続けておきたい。  
神の御言葉と祈りが、自分の敗北を招くと知っているから。  
サタンは既に敗亡した敵です。  
だから、御言葉と祈りが決め手であると分かっているのです。  
どうしたら信仰を持てるか。  
それは、「神の御言葉によって、神の御言葉を聞くことによって」です。

これをどう言えばいいか…愛をもって言いますが…  
この世の悪が日毎に表面化している終わりの時代、クリスチャンが御言葉と祈りが無い日々を、どうやって生き残ることができるのか。  
神の御言葉と祈り。祈りと神の御言葉。  
それなしに、どうやって生き残ることができるのか、私には分かりません。

### 質問③ ただ信じる時、なぜ神はその信仰に報いて下さるのか (Why)

信仰とは何でしょうか。  
全知全能の神の注意を引き、権威ある偉大な神の御手を動かすこと。  
**ヘブル 11:6a 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。**  
すなわち、自分に信仰があれば、神を喜ばせることができる。  
あなたは神を喜ばせたいですか。私はもちろんです。  
私が信仰を持つなら、私は神を喜ばせている。神は私の信仰をととても喜んでおられる。

よく聞いて下さい。  
あなたが私の信仰を計測できるなら、顕微鏡的な極めて小さいからし種の大きさだと分かります。  
それでいい。  
さらに言うと、パウロが書いたように、私たちに信仰がない時、つまり信仰を持っていないとしても、神はずっと忠実なお方です。  
**ローマ 3:4 たとえすべての人が偽り者であるとしても、神は真実な方であるとすべきです。**  
たとえ私たちが神のみもとに行って、「主よ、私は糸1本で持ちこたえています」と言っても。  
先週、『気づかずにその糸が切れる時』を学んだところですね。

**ヘブル 11:6b 神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。**  
信じなければならぬ。ただ信じる。  
神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬ。

最後に1つ、希望をお分かちします。  
どんなシナリオであれ、たった1つの事であっても、あなたが神の子供として主の下へ行き、主に嘆願し、熱心に、一生懸命に、有効に祈り求めた時、神が「ダメだ」と言われるのを想像できますか。  
あなたの子供があなたの下に来る時、地上の親としてどう応じますか。  
子供のために、月や星に課税しようと思いませんか。  
それが良いことで、あなたに可能であるなら、何でもするでしょう。しないわけがない！  
全てお出来になる私たちの天の父は、尚の事そうです。  
ただ信じるのです。

皆さんが理解しなければならぬのは、先週の学びでお話したのですが、私はこの講壇で悪戦苦闘してい



